



きらめく風

すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

本校の生活指導

校長 道山 正史

旭町小学校の授業中の廊下はとても静かです。それは新学期を迎えてから1か月、それぞれの学級や教室での決まり事が浸透しつつあるということだろうと思っています。

さて、本校の生活指導目標は、

「約束やきまりを守り、自分や友達を大切にする子」

です。そのために、

- 1 「返事・あいさつ・あとしまつ」をはじめとする基本的な生活習慣を身につけさせること。
- 2 集団の中で自らを律する心と、例えば、靴箱にきちんとかかとをそろえて靴を入れるなど、社会生活を営む上でのマナーを身につけさせること。
- 3 災害や犯罪の被害から自分の身を守る態度を育てること。

さまざまな生活指導に関する項目や標語があるなかで、本校では上記の3点を指導の重点として取り組んでいます。そして、すべての教育活動を通して、児童相互、児童と教師の豊かな信頼感のある人間関係を深めて、生活指導が実りあるものになるようにしていきたいと考えています。

教師は自分の学級や学年だけでなく、全校の児童に対して指導していく姿勢をもつこと、すなわち「その場にいる者が指導者」としての自覚をもって指導に当たるようにしています。また、朝は順番で正門付近に教員が登校指導をしています。中休みや昼休みには2～3人の教員が校庭に出て子供たちを見守ったり、一緒に遊んだりしています。(本校では、原則として休み時間は全員が校庭に出ることになっています。また、中休みは極力、委員会活動や係活動で校庭に出られないという児童がいないようにという申し合わせがあります。)これらの生活指導を通して、児童と教員の信頼関係が深まり、落ち着いた学習環境がつけられ、教育効果が向上していくと考えています。

今後とも家庭、地域、連携諸機関との連携を図りながら、児童の健全育成と、安全・安心な学校作りの推進に努めて参ります。

